

学校再編成に係る説明会

日時 令和7年9月25日（木）

19：00～

場所 豊前市役所 大会議室

1 市長あいさつ

2 新設小学校2校（北小学校・中央小学校）の開校延期について

3 その他

4 教育長あいさつ

学校再編成に係る説明会 会議録(要点)

日 時	令和7年9月25日(木) 19:00 ~ 20:15
場 所	豊前市役所3階 大会議室
出席者	保護者、市P連 豊前市 西元市長、中島教育長、佐々木部長 学校教育課 5名
	1. 市長あいさつ 2. 新設小学校2校(北小学校・中央小学校)の開校延期について 市長より、開校延期について説明。その後、以下のとおり質疑応答が行われた。 八屋小) 学校全体として教員不足やリソース不足を感じる。その影響で様々な問題が生じていると思うが、開校が1年延期されることで、さらに問題が増えるのではないのか。その対応策はあるのか？ 教育長) 教員不足は全国的な課題であり、教員定数を満たせていない状況にある。今回の再編は小規模校を中規模校に再編することを目的としており、中規模校となることで教員配置が充実し、例えば中学校では部活動の充実、小学校では専科教員の配置が可能となる。開校延期により一部で複式学級が生じる可能性はあるが、非常勤講師を配置するなどして現場に支障が生じないよう対応を検討している。 横武小) 体操服は統一されるのか？また、再編後に区域外から豊前蔵春学園を選んで通学することは可能か？ 教育長) 制服については現在部会で検討中である。体操服については統一する方針だが、当面は現行のものを併用し、買い替えや新入生の入学の際に新体操服に移行する考えである。豊前蔵春学園はこれまで通り小規模特認校であり、市内のどこからでも区域外就学として通学可能である。ただし、特徴として学級規模が大きくならないようにしたいので定員20人を超える場合は、希望理由によっては入学を制限する可能性がある。 八屋中) 蔵春学園の区域外就学について、定員超過時に希望を断ることはあるのか？中学校の建設会社がピーエス・コンストラクション(株)となった経緯は？また、開校延期に伴い、どれくらいの予算が削減されるのか？ 市長) 建設会社については、所定の点数以上の会社を対象に公募し、市提示の上限額内で最も低価格で入札した会社が落札した。今回は2者が申込みをしたが1者辞退のため、実質的にピーエス・コンストラクション(株)のみが参加し落札に至った。予算については議会に概算を示しているが、設計にまだ着手しておらず、詳細は設計後に精査することになる。学校再編は施設整備だけでなく教育内容の充実も重要であり、そこに資金を充てていきたい。 教育長) 11月段階で算出した来年度の生徒数をもとに教員数を決定するため、校区という考えが存在する。原則は校区の学校に通うことになり、特別な理由がある場合には区域外就学を認める。例えば、いじめの解決が困難な場合や特定の部活動を希望する場合などである。ただし、困難を乗り越える力を育むことも大事であるため、すぐに学校を変

えるということを推奨しているわけではない。なお、定員 20 人を超えても一律で制限することはなく、実際に超えている事例もある。

三毛門小) 再編により通学距離が増える。低学年児童が 2 k m 歩くのは不安との声がある。悪天候時の保護者による送迎が考えられるがインフラ整備はどうなるのか？また、クラスの人数が少ない学校の保護者は不安を抱いている。学校間交流の予定はあるか。課長) 現在、部会にて実測 1.5 k m 以上の児童生徒についてはスクールバスでの通学を検討中である。

主幹) 1.5 k m を基準に検討しているが、バス台数との兼ね合いから今後調整の可能性がある。

教育長) 2 k m は現実的に遠いため、事務的な線引きではなく実態を踏まえて検討する。悪天候時の送迎は現行でもあるため、再編後も同様の状況が考えられる。スクールバス用ロータリーを整備するので、一般車の乗り入れのしやすさも検討していく。交流については、再編前年度から各種行事や P T A ・スポーツ団体等を通じて交流機会を設けたいと考えている。またオンライン交流も並行しておこないたい。

指導主事) 令和 9 年度に中学 3 年生となる現在の中学 1 年生については、4 校が集まり職業紹介を受ける「夢授業」の場で交流を図る予定である。現 6 年生も来年度同様に「夢授業」を実施し、現 5 年生は今年度 1 月に再編対象校のグループでニュースポーツを通じた交流を行う計画である。小学校については、令和 11 年度の再編を見据え、令和 9 年及び 10 年に学年ごとに楽しい遊びを通して交流の場を設けたいと考えている。

角田中) 子ども達のことを知ってくれている現状の先生の配置はどうなるのか？今までの先生が残るのか、全く違う先生の編成になるのか、環境変化を懸念している。

教育長) 再編により担任や教科担当以外の教員が増え、フォロー体制が強化される。既存の教員が全く配置されない学校がないよう、県教委と協議していきたい。少人数から大人数になる不安は理解するが、集団の中で切磋琢磨していくことを期待してもらいたい。多くなるといっても 35 人学級であり目が行き届かないということはない。これからは自分と違う考えと交流し合って学ぶ力が要求されてくる。そういった学習や状況にぜひ期待してもらいたい。

千束小) 独自にアンケートを取った結果「子どもの意見を取り込んでもらいたい」という意見が多かった。子ども達が蚊帳の外になっている気がする。子ども達が主体的に関わればいじめも減ると思う。参加者は忙しい中集まってくれているので、寂しい会にしたくない。付いていきたいと思わせてくれる市長であってほしいので、とことん話せる場を設けてもらいたい。

市長) 可能であれば、今後校区ごとの P T A 会議に参加させてもらえたらと思う。皆さんに対して大きな影響があるのはわかっているので、話す機会をしっかりと設けなければならないと思っている。また、少人数から大人数へクラスが変わることへの不安も理解している。ただし、競争原理を感じるためにはある程度の人数が必要である。部活動においても一人ではできないものをさせるためにはある程度の人数が必要である。また、今まで専科の先生がいなかったが、教育充実のためには必要不可欠であり、その実現には

この形を選ばざるを得なかった。過渡期にある皆様にストレスを与えてしまうことは重々理解している。だからこそ対話の機会を小さな単位で、時間がある限りさせていただきたい。開校を1年伸ばすことでそういう場を設けられるメリットもあると考えている。

八屋小) 現時点で確実に決まっていることは？

教育長) これまでも児童生徒を通して再編だよりを配布しているし、市HPでも発信している。そちらをご確認いただきたい。

宇島小) 出生数がこのまま推移するのならいずれ1校になるかもと言っていた。現在は2校整備するようにしているが、このままであれば1校で十分ではないか。お金が無駄になるのではないか。豊前市の考えを教えていただきたい。

教育長) 人口減少に加え、学校の魅力不足により市外へ流出している現状があるので、今後は選ばれる学校にしたいと考えている。また、学級定数が30人になっていくことを見通すべきと考えている。全体の子どもの人数は減っているが、たとえ10人が蔵春学園を選んだとしても、各校で少人数の2クラスを維持することはできると考えている。今時点で1校にしてしまえばマンモス校になり、校舎の規模も倍以上必要になるので整備費がよりかかってしまう。子育て支援を頑張り、また学校の魅力を発信して学年100人規模を目指したい。

宇島小) 魅力のある学校、選ばれる学校を作りたいということだが、具体的には？

教育長) 中学校については、わかりやすいのは部活の充実である。今時点で部活がないからと外に出ていく家庭に選んでももらえるようになる。また、教科の先生がそろうことも魅力の一つである。今は小規模校で教科の先生がそろっていないので、非常勤講師に来てもらっている。再編後は、すべての教科で正規の先生がそろい、同じ教科の先生の間で切磋琢磨し合うことで良い授業が作られていく。小学校については、担任の先生だけでなく専科教員の配置により専門的な学習が期待できる。

3. その他

なし

4. 教育長あいさつ

(省略)